

## これはめずらしい へびうりが育ちました

グリーン保育園では、子どもたちも大人気の「へびうり」を育てています。へびうりはウリ科の植物で、原産国はインドです。果の長さが約1mまで達する細長いうりで、その形はまるで蛇のようです。

子どもたちは毎日へびうりを見ながら、どこまで大きくなるのかと興味を持ち、毎日楽しみにしています。

このへびうりは、保育園の野沢園長が知人から種を譲ってもらい、職員で育てているそうです。保育園では、子どもたちに色々なことに興味を持たせ、園児一人ひとりに感動を与えられるようにと、知恵を絞りがんばっています。



## JR小山車両センター 開設40周年記念フェア

9月9日、緑2丁目のJR小山車両センターの開設40周年記念フェアが行われ、大勢の家族連れで賑わいました。

同センターは昭和41年7月小山電車区として設置されました。平成16年には現在の名称に変更し、宇都宮線や高崎線などを運行する車両の点検整備を行い、故障のない綺麗な車両の提供と安全安定輸送の確保に努めています。

この日は、三新幹線の試乗会や、駅長服を着ての記念撮影会などのイベントを実施。会場を訪れた子どもたちは大喜びの様子でした。



## 『財団法人下野市農業公社』がスタートしました

去る9月8日、午前9時30分より下野市役所国分寺庁舎市長公室において統合調印式を行い、(財)南河内町農業公社と(財)国分寺町農業公社が統合し、(財)下野市農業公社として新たにスタートしました。

平成18年1月の旧南河内町と旧国分寺町、旧石橋町の3町合併を契機として、農家や消費者のニーズに効率的に応えるため、平成17年6月から統合に向けての検討を重ねてきました。

調印式では広瀬市長とJAうつのみやの小島俊一組合長、JAおやまの篠原正雄組合長、下野市農業委員会の高田憲一会長らを立会人に、統合協定書に調印しました。公社の事務所は、下野市役所南河内庁舎に設置します。今後は、行政機関や農業団体と連携しながら、農業経営の効率化・安定化を進めます。

広瀬市長は「公社は地域の農業振興に大きな役割を担っています。うつのみやとおやまの2つのJAと連携しながら、関係者の期待に応える業務を展開してほしい」と期待を述べました。



住所：下野市田中681番地1（市役所南河内庁舎1階） ☎（48）2117

## おめでとーう じゅいいます

下野市主任児童委員の梁島さんが栃木県知事賞を受章

第12回栃木県民福祉のつどいが9月5日、宇都宮市文化会館にて行われ、本市主任児童委員の梁島真里子氏（下野市石橋在住）が12年以上の活動功績が認められ、栃木県知事賞を受章されました。

また、現在も石橋地区の主任児童委員として、石橋地区全域の親子の相談・援助を行い、児童福祉の増進にご尽力されています。

